京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

雜報

豊永博士の報告(下)

(第一回園藝品評會)

一、茄子は東京山茄子、千成等内地種の形狀正しく色澤良好なるは在來種の肉質粗く子實の硬化速かなるに比し一見其優れるを知る、バーピエス、ブラツク、ビユーラー種は豊肉鮮麗其の外觀の美は賞讚の價ありと雖も結果少く用途廣からざるを以て奬勵するの價値なし概して採收の適期を誤りたるもの多きは其缺點なり。

一、南瓜は縮緬、鹿ケ谷、菊座、等形狀大にして外觀亦美なりと雖も肉層薄く縮緬粗にして各種稍や其特質を失せるは蓋し生長期間降雨多かりしに因るならん在來種は肉薄く質は粗にして甘味乏しへツパート種は形質共に劣化の徴あり宜しく種瓜の撰擇に注意すべし。

一、白菜は未だ採集の時期に達せず僅かに元山鎭南浦より出品せる支那種に於て聊か其の萃を得たり開城種は單に外葉を形くりたるのみにして未だ其特質を備ふるに至らざるは遺憾なり。

一、葱は千住種異彩を放てり龍山及び孔德里の產形質共に備はれり下仁田亦遙かに在來種を凌げり。

一、蕃椒は殆んど在來種に屬す色澤佳良にして形狀能く揃へり輸出用鷹爪類の栽培も亦有望なるべし。

一、枝豆は莢硬化し蔬菜としての時期を失せり。

一、蕃茄のキング種亦聊か過熟の兆ありゴールデンナケツト種稍や其時を得たり。

一、萵苣、菠薐草、菜豆、豌豆等出品甚だ少く品位亦劣れり。

一、種子は開城白菜の稍や秀でたるものあり然れども色澤不純にして調製の完からざる其缺點なり特に採種の時期に注意するを要す之を要するに今回出品の成績は初回の開催たるに拘らず出品點數は豫期以上に出で其品位も亦概して良好なるもの多し今後尙ほ主要の點に就て改良を促し行かば久しからずして善良なる果實蔬菜の供給各地に遍く外國輸出の望も亦難きにあらざるべしと信ず(下畧)

土地調査と地主

今般政府に於て施行せらるゝ土地の調査は京畿と慶尙北道との二方面より開始し京畿は既に富平、陽川の調査を了へ目下金浦、通津、始興、安山、果川五郡に慶尙北道は大邱郡に施行中なりと云ふ調査施行の郡名及申告書の提出期限は其の都度豫め官報にて告示せられ若し期限を過ぎ申告せざるときは土地調査法に依りて貳拾圓以下の罰金に處せらる且つ土地の調査は土地所有者の申告に重きを措きて調査せらるゝ趣なれば土地の所有者は常に調査施行の地域に注意して申告期限を待たず申告書の提出を怠るべからず土地調査局に於ても土地所有者の便利を計り土地申告書用紙を印刷し調査員の手許に準備し無償にて交付せらるゝ由なり金浦郡外四郡申告書提出期限を揭ぐれば如左

金浦郡	申告書提出期限	十一月廿二日
通津郡	同	同上
始興郡	同	十二月十五日
安山郡	同	同上
果川郡	同	同上
大邱郡	同	同上

土地申告に關する心得方は客月廿九日土地調査局告示第二號を以て公示せられたると土地調査局に出頭せば說明せらるべく又地方の郡廳にても明瞭なるべき筈なり

●日鮮學校合併豫測

朝鮮人に對する日本語教育は近來非常の好成績にして普通學校を卒業したるものは不充分ながらも日本語を了解し得る程に發達し且つ更に高等學校を卒業したるものに至つては內地人と殆んど差異なき迄に日本語を克くするに至る程なるが昨今に至りては朝鮮人にして內地人の學校に入學するもの各地に見受けられ當京城に於ても中流以上の朝鮮人側に於ては高等學校よりも日本人學校に入學せしめ日本人の敎育を授けしめ居るもの尠しとせざれば今後遙かに一般をして日本語を普及せしめ朝鮮人の公私學校を廢して日本人學校に合併するの困難なるは論を俟たざれども現時の趨勢既に斯くあるを以て見れば中等以上の日鮮人學校合併亦遠きにあらざるべし蓋し朝鮮兒童の頭腦を解剖するに其國情既に日本の閉鎖主義と異り往時より諸國との交通頻繁なりしより國語に對する暗誦力極めて優秀にして內地人の遙かに及ぶ處に非ず且つ數學的頭腦の如き理解力に至つては一般に內地人に劣れりといふも又有名なる數學家なきにあらず要するに彼等の頭腦斯くの如きを以て普通學校の合併稍困難なれども中學校の夫れに至つては亦至難の業にも非ざるべしと云々と某當局者は語れり

●多木と酸曹合同無根

人造肥料會社の合同は多年の懸案を解決し大日本人造肥料會社なる六百五十万圓の大會社の成立を見るに至り此の偉大なる形體を有する大會社は斯業界の全權能を一握せんことを企圖し一方に於ては多木と酸曹と合同し以て之の勁敵に對抗せんとする計畫ありと吾人は小會社の分立割據敢て是れが惡戰苦鬪を望むものに非ずと雖も壓迫强迫强て合同を爲し形體上の大會社を成立し專橫を恣にし農業の生命たる貴重の肥料界を跋扈せんとする野心ある合同は產業界の爲め憂慮に耐へざる處なり而るに茲に農界の爲め尤も喜ぶべきは頃日新聞紙上に傳ふる多木と酸曹との合同の事實無根なるを探知し得たる一事なり此多木と酸曹の合同說は全く跡形もなき揑造說にして多木の如きは獨立自營個人營業の特色を以て多年農家の忠僕たる赤誠を表し大に斯業界に雄飛する覺悟にて大擴張の折柄決して合同を爲すの必要を認めざるものゝ如し即ち多木製肥所が過般來全國各新聞に廣告したる會社の合併は需要者の敵なり不廉の肥料を購入せしめて農家を泣かしむるの時季あるや知るべしの文意を見るも多木と酸曹の合同說の無根なるを證するに足らん

●京城分析所の設立

南門通廣通橋畔に新設されたる京城分析所は二三朝鮮有力家の合資にして技師は韓銀分析所に久しく勤務されたる谷田部技師之に當り去十六日より開業されたるが組織は韓銀分析所と殆ど同一の營業にて尙ほ追ては一般鑛物分析の需めにも應せらる、創立日尙淺きも朝鮮側の氣受よく委託紛出の姿なりと

▲釜山商況(十月四日)

彼岸を界して商況漸く活氣を加へ來れり久しく各地に沈滯勝なりし棉糸も近來銀塊の騰高淸國輸出の色めき來りし等により大に活氣立ち殊に需要時季に入りし爲め一段の騰調に向へり生金巾も米棉に直接關係を有する英金巾は春來製商の揉め約定手控への姿なりしも十月に入りても何ほ降落の模樣なく益上向にて加之現品潤澤ならざる結果益〻上昇の傾あり晒金巾は生金巾反對に品潤澤なるも需要多からざりしも漸く需要期に入り各地よりの注文出で來りしも品饒かの爲め未だ上昇せず併しながら上海との爲替下落せしと日々在荷減少の爲め自然高氣配にあり其他母國の特小產幅棉は賣行益〻好況殊に同和金巾は近年長足の進步にて一般に流下の需要は益膨脹しつゝあるが本年は殊更の上景氣なり石油も需要季に入り漸好徵メリケン粉は保合なりと

講談

大岡政談 越後傳吉 第九十一回

旭堂南陵講演

役「うれまでの手續きで宜いから 伴「恐れながら伴右衛門申上げます 越「何ぢや 伴「傳吉が江戸表へ參りまして五ケ年の間に三百兩ぢやの四百兩ぢやのといふ大金を儲けて戻つたが抑も怪しく心得ます、僅か奉公人ぐらゐの身分でさう大金の蓄る譯がございません、これ傳吉が何か惡事を働いたものかとも心得ます 越「傳吉 傳「ハイ 越「其方は三浦屋方一軒にて奉公いたしたか 傳「左樣でございます三浦屋さんにて奉公のういたしまして、初めは飯炊から入込んで、三浦屋の大番頭とまでなり、一文のお金も粗相にいたさずチビ／＼と蓄めました、どうぞこれは三浦屋樣をお調べを願ひます 越「ム、伴右衛門 伴「ハ、ッ 越「越前存意がある、彼れが惡事をいたしたかいたさぬか宮三浦屋四郎右衛門方より取調べて見れば明白である、さて伴右衛門 伴「ハ、ア 越「傳吉が泉磧において庄藏梅の兩名を殺したのう 伴「ハ、ッ 越「その殺した時の獲物は何ういふ物で殺したか、ア、伴右衛門獲物は何である、出刄庖丁と申すか刀と申すか獲物は何ぢや、定めし刄物は吟味いたしたであらう、何うぢや 伴「ハ、ッ 越「何うぢや伴右衛門 伴「ム、……御意にございます、只彼れが殺せし證據充分にあるものでございます、それを白狀いたさせんがため刄物の吟味といふことについては伴右衛門失念を仕りました 越「刄物の吟味を失念いたしたといふのか 伴「ハ、ッ 越「伴右衛門、その役である其方が肝腎兩名を殺したその刄物の吟味が肝要ぢや、その役目の其方が失念をいたしたといふのは伴右衛門、其方も吟味者ぢやな 伴「ハ、ッ 越「今日はこれまでぢや、一同の者立てい、傳吉一人跡へ殘り居れ」越前殿深き思召しがある、こゝに一同の者を皆お立て遊ばし、傳吉一人をお白洲へ殘され 越「傳吉面を擡げい 傳「ハイ 越「今越前の尋ぬることをば些細なることも包まず申せよ 傳「有難き仕合せにございます 越「其方の申立てに依れば宮戸村へ參つて歸途屍體のやうな物に躓き、衣類に血が附たるため召捕られたといふのか 傳「ハイ 越「宮戸村へ何用あつて參つたのぢや 傳「恐れながら申上げます、私の妻の仙が前の晩に惡い夢を見ましたので、宮戸村の近藤卜齋といふ易の先生、このお方の方へ晝の仕事を終ふてから、夕方から夢判斷をして貰ひに參りました 越「ム、夢判斷と申して何ういふ夢を仙が見たのぢや 傳「恐しい廣い川がもう氷に凍り附いて居ります 越「ア、 傳「其所をば私が衣冠束帶にて馬に乘て渡りますと、メリ／＼と氷が割れて私が氷の中へ陷りました 越「ム、 傳「仙がアレど驚いて見て居る間に日輪樣が二ッ重なつてお上りになり、氷が解けたといふのでございます、氷の中へ落ちたなどゝいふのは高り良い夢ではないそれがあるからトて貰はうと實は參りました 越「然らば近藤卜齋は何といふた 傳「ハイ水は卦に取つて、坎の卦、方角は北、色は黒いものぢや、當年中に必らず大難がある、併し日輪が二ッ上るといふは、後に晴天白日になるのぢやと申されました 越「ム、左樣か、越前守暫らくの間首を捻つてお考になつて居る 越「近藤卜齋といふ易者は上手ぢやらうな 傳「ハイ 越「面を擡げい 傳「ハイ越前殿また暫らくの間傳吉の樣子に眼を留めておいでになつた 越「其事は享保十二年十月二日ぢやのう、 傳「御意にございます 越「ム、近藤卜齋の方へ參つて歸る時に誰も會ひはいたさなかつたか 傳「ハイ近藤卜齋の方に居ります間に、江戸表の淺草田原町木暮位太夫の伜金之助樣と仰しやるのが、女房さんを連れて越後の方へおいでになつて女房を誘拐された、生きてるか死んでるかトて貰ひに來たのが私と顔馴染で…… 越「其方は何ういふ譯で馴染ぢや 傳「その金之助樣は私が吉原の三浦屋に奉公して居りまする時分に 越「ム、 傳「お遊びにお來でになつて可愛さんといふ花魁が敵娼でございます 越「ハ、ア奉公中の客か 傳「御意にございます 越「そりやア卜齋は何といふた 傳「これは最早死んで居ると申されますと、ガツクリと力を落してお出でになりました 越「死んで居ると申したか 傳「ハイ 越「ム、左樣か、相分つた、退れ 傳「有難き仕合せにございます 越「勤つて取らせよ 役「ハ、ッ越前守は傳吉をばお退げに相成り、御自分のお屋敷へお歸りに相成つた



廣告

京城府民大懇親會左の通り擧行候條奮つて御參會有之度候也

記

一日時 十月九日午後二時
但雨天順延
一會場 景福宮內
一會費 五十錢
但會費と引替へに入場劵を交付す
一申込所 京城居留民團役所
京城商業會議所(鍾路)
京城日本人商業會議所(壽町)
一申込期限 十月八日正午限り

明治四十三年十月日
京城府民大懇親會委員總代
古城菅堂
和田常市
中村再造
趙鎭泰
趙秉澤

東京電報

▲朝鮮統治と總監　政府の意嚮は朝鮮統治上に於て行政總監の任務を重大視し一般統治其緒に就きたる上は總監の手腕に信頼し總督は施政の大方針を樹つるに過ぎずして海陸の防備を以て其本職たらしむべく官制面には強ひて軍人總督を規定したる主旨なりと(五日發)

▲東本願寺の傳道　大谷派東本願寺にては朝鮮人同化に貢献する爲め大擧傳道を爲す事に決定し近く前法主大谷伯渡鮮すべし(同上)

▲四評定官と退官　行政裁判所に於て昨日評定官會議を開きたる結果紛擾問題に關係ある四評定官の退官決議を爲せり(同上)

▲朝鮮醫師の取締　今後朝鮮の醫師は試驗合格者に限り許可すべく且つ開業地域を限定する方針にて訓令を發したり(同上)

▲觀光團の出發　鐵道院主催の朝鮮觀光團二百五十餘名の一行は本日午前觀光の途に就く停車場には親戚知己の見送盛なり(同上)

▲三浦氏の轉任地　前京城理事官三浦彌五郎氏は公使館一等書記官に轉任瑞典在勤を命ぜらる(同上)

▲商務官領事任地　商務官紫藤褫氏は紐育在勤領事藤田敏郎氏はオデヤヂロ在勤を命ぜらる(同上)

▲駐剳軍々醫部長　陸軍省軍醫局衛生課長陸軍一等軍醫正大西龜次郎氏は朝鮮駐剳軍軍醫部長に轉任す

▲駐外武官と轉補　野戰砲兵第四聯隊長砲兵大佐田村沖之甫氏は獨逸大使館附武官に參謀本部附兼陸軍大學校教官歩兵大佐鈴木朝資氏は歩兵第二十聯隊長に補せらる(同上)

北京電報

▲資政院の開院式　北京に於て去る三日資政院開院式を擧行し攝政王より一場の訓示あり慶親王は皇帝陛下の訓示を代讀し資政院は上下議員の基礎にて輿論代表の機關なりと宣言せり市中は國旗を掲げて憲政の前途を祝福せり(五日)

伯林電報

▲伊帝に勳章捧呈　墺國外務大臣エーレンタール伯は伊國皇帝陛下にマリエアンノンシャード勳章並に墺帝の親書を捧呈せり(同上)

▲佛蘭兩國の關税　佛國は蘭領印度に對する石油の最低關税を承認せり爲めに和蘭に佛國より輸入する葡萄酒關税の不足を放棄せり

▲露國外相の任命　露國外務次官サゾノフ氏は外務大臣に任命されり(同上)

▲獨逸前陸相の訃　獨逸前陸軍大臣ウイルケーハウイノア氏は逝去されたり(同上)

▲獨飛行家と佛國　獨逸飛行家海軍少佐エルゲルハルト氏はメッツ市を越へ佛國メンスに降下したるが佛國にては此事件を以て國際問題と認めず無事歸國を與へたり

雜報

▲地方長官會議(内催)　寺内總督は五日午前九時半より各地方長官を官邸に招き各部長官も列席の上一般行政、各地方行政、新官制組織及び運用心得べき箇條即ち人心統一、産業獎勵、教育衛生、運輸交通に關し二時間に渉る精細の訓示あり次て大久保大將より三十分間餘暴徒討伐の報告的訓示あり正午々餐を饗せられ午後一時より總督府に於て度支部、内部、警務總監部の所管事務打合せを爲し第一日の會議を終り四時散會したり

▲願書類は總督宛　今般改革の結果從來各部大臣に宛てたる請願書類は今回より各部長官は之れを受理せざるに依り總べて總督に宛て差出すべしといふ殊に緊急を要する書類の如きは總督に宛てざる時は各部長官より更に部内各課に配布し又々總督に回附するに至り手數は勿論出願者も不利なるべきを以て各請願書深く注意さるべしとなり

▲朝鮮貴族の叙爵　朝鮮貴族令に依り叙爵さるべき李王の一族及勳功ありし兩班等には其筋に於て調査終了し五日夕入京の小原宗秩寮主事、蜂須賀式部官着京に付七日總督府に於て正式に授爵式を行ひ同時に發表の筈なるが其恩典に浴するものは李王家の一族として李址鎔、李載崑、李載克、李載覺、朴泳孝及元老團よりは閔泳徽、閔泳韶其他元閣臣李完用、趙重應、朴齊純、高永喜、李容植、閔丙奭中樞院副議長金允植同顧問李根湘、李根澤、李夏榮、宋秉畯、任善準、權重顯及趙羲淵、尹德榮、李秉武、李容九等其主なる者にして總計約四十名内外と傳ふ就中李完用及李王の一族は伯爵金允植は子爵其他は均しく男爵ならんとの事

▲大觀光團滯京(日程)　鐵道院主催の觀光團(京濱の紳士紳商二百五十名)は來る▲九日午前六時五分特別列車にて南大門に着するに依り府民有志は同驛に出迎し(煙火を打揚げ奏樂あり)午前七時一先づ旅館に投じて休憩し午前十時有志の案内にて總督府、南山本願寺、紀念碑、和城臺公園、漢陽公園を巡覽して正午萬千閣に於て午餐會を開き午後二時景福宮に於ける府民大懇親會に臨席し▲十日午前十時パコタ公園に集合して同十一時より昌德宮秘園の動植物園を參觀して秘園に於て李王殿下より茶菓の饗應を受けて中食(折詰)を爲して隨意退散す▲十一日は蠶島の園藝模範場、東拓會社の農場、東大門外淸凉里、御陵、獨立門、獎忠壇、關羽廟、石坡亭(北門外)東亞煙草會社の工場等を巡覽す

●京城郵便局の統計　京城郵便局九月中の扱金額左の如し

	口數	金額
受之部		
爲替	三二七	一九九一三、六〇
外國爲替	三一	六二、七四〇
取立金	四八八	七七九、五六二
貯金	一八八	一三七八五、一九〇
振替貯入金	二七四	二九二七、一八五
歲入金	三〇二	四一五五、四五二
國庫金	一七五三	三一九八、九五〇
拂之部	口數	金額
爲替	三四六四	七四一六三、七二五
外國爲替	三九	九七八、三四〇
取立金	二八八	九二〇三、七三〇
貯金	五三六	八三五四、七一五
振替貯金	一〇三	七七〇四八、四一〇
歲出	一八一	一六〇三五、七一〇
年金恩給	五	一四五、六三〇

●來年度豫算調了期　官制革新後に於ける新計劃に伴ふ豫算及び明治四十四年度の豫算編成に關しては目下各部とも殆んど徹夜の狀態にて忙殺され各地方行政機關の擴張と共に其施設も多數なるを以て本月二三日頃までに全部結了の豫定なりしも各部に於ける豫算の全部を編成し終るは本月十五日頃なるべしと云ふ

●朱安停車場の新設　度支部財源調査局に於て朱安に天日製鹽田築造に從事せし以來同地に假停車場を設けて往復一回宛の便乘を許し來りたるが同所も追々規模擴張せられたるより此程來朱安停車場を設置し一般運輸營業を開始し居れりと

●平南線營業開始期　平南線鐵道は愈々來る十六日より一般の運輸營業を開始することに決定したるが各驛間の哩數は平壤太平間九哩八分太平岐陽間七哩八分岐陽眞池洞間七哩七分眞池洞鎭南浦間九哩なりと

●宮内府修學院解散　宮内府の廢官と共に從來德壽宮内に在りし宮内府修學院も自然不必要となりたるを以て四日午前九時より同院に於て解散式を擧行せり同學院生徒は今後漢城高等學校二年級に編入する由

●長官會議の第二日　五日より開催の地方長官會議は引續き六日も總督府に於て午前九時より正午迄總務部、司法部、午後一時より四時迄農商工部、鐵道局、通信局、土地調査局所管事務の打合せを爲す筈

●英軍艦雄基灣入港　英國軍艦ミナチ號は帝國政府より朝鮮沿岸寄港の承認を得て四日雄基灣へ入港せり同艦は六日迄同灣に碇泊し夫より濟州島を經て日本へ航行すべし

●大擧傳道豫定期間　去る一日より開始せる在京城外國宣教師大擧傳道の期間は一ヶ月間の豫定也

●寺内總督の晩餐會　六日午後六時より寺内總督は地方長官を官邸に招き晩餐會を開く由なり

朝鮮煙草會社に對する實業家の意見

▲市原盛宏氏　曰く、予は新聞に依て初めて煙草會社設立の企てあるのを知つた、貴新聞記載の如き目的を以て目論見たるものならば勿論のことだが、同營業の個人に取つて有利なると否とは姑らく措き、予は大体に於て斯る企てを不可とするものだ云々。

▲岡崎遠光氏　曰く、予は山口太兵衛氏の株式應募の勸誘に依つて唯善きに計らひ呉るゝやうとのみ答へて置いた、が金儲けなればとて目的なり手段なりを撰はぬ如き企てには固より贊成は出來ぬ、同煙草會社創立の目的たる内容は知らぬが、今日傳へ聞く如くんば、株式應募は考へものだ云々。

▲竹山純平氏　曰く、予は會社創立計畫者の心持は知らぬが餘り好き企とは思はぬ、凡そ事業を爲すには其の人の信用と手腕が先きに立つもので、而して其の手腕なり信用なりの善用が必要だ、煙草會社の創立は果して信用手腕の善用であるか怎うかは予は知らぬが故に疑問として置かう。

▲〇〇〇氏　曰く、折角のお尋ねだから僕は僕の意見を遠慮なく逃べよう、ダが僕の名前を出すだけは勘辨して呉れ玉へよ、一体今度の煙草會社の計畫は元内部に居て碌な事をしなかつた平渡信が其筋の檢擧を恐れ自ら退官して東京に逃げ行き運動に着手したものだ、尤も平渡は前から自己の惡事が露顯に及ばんとし到底首を繋ぐ事は出來ないと思ひ退官後の飯の種に煙草會社の計畫を狹ふからして居たものだ、トコロで前代議士の松下某、コノ男は曾禰さん時代に松林の拂下げを願ふとか何とか運動して居たがソレも出來ず遂に爲すこともなく暮して居る中平渡と一ショになつて今度の煙草會社の計畫に加はり泥だ、ナニ發起人の山口太兵衛君が居つてではないかアレは右松下某から說かれて贊成者になつたのだ。昨日の朝鮮新聞を見ると煙草會社創立の記事が出て居るがまづアノ發起者の顔觸れを見玉へ、根津嘉一郎はナンだ、アノ男は正眞正銘の虛業屋だ、其他淺田だの鶴原だの誰だ彼れだと名は並べて居るが何れも事業の智識の無い文無し屋許りだ、若しも夫程煙草事業が有利で國家の利益と反せぬならば朝鮮の事には永年關係のある澁澤さんや大倉さんやが相談に與らぬ筈はないのだ。世に虛業屋程惡むべきものはない、彼等は宜加減の事を云て會社を作り煙草專賣を口實に權利株の値を煽り不正の利を得んとするのだ、ナニ京城や釜山の人達が株を持と、アーソレは氣の毒の事だ彼等は澤山も無い金を出て虛業屋が錢儲けの踏臺になるのだ、更らに語を換て云へば喰物になるのだ。釜山の煙草會社は何年と云ふ營業をして居が利益を見た事は無いのだ、京城の廣江商會も其通だ、ナニ東亞煙草は影響の無い樣朝鮮人向の煙草を作て營業するさ、彼等の言ふところはミナ嘘だ假令會社が成立しても彼等は煙草を製造せず只煙草專賣法を布くのを待て不正の利を得とするのだ、君の所の新聞に廣江が取消を出て居るがアノ取消は嘘だ現在廣江は平渡等の仲間に五萬圓で煙草工場營業權商標一切を賣渡す契約をして居るのだソシて平渡等の仲間は新設會社へ十五萬圓で賣附と目論で居るのだ、此計畫は過日山口太兵衛君に看破され問題が起つたのだ京城の運動屋連は一方株式應募の勸誘を爲つゝ他方廣江商會の買附に因つて暴利を食らんとして居る其にも劣らず釜山の運動屋は釜山煙草會社を新會社に買附之亦暴利を貪らんとして居る、因て思ふに運動屋の口車に乗て株式を持つ人達はツマり運動屋等が廣江商會や釜山煙草會社の買附に因つて暴利を得んとする其手傳ひをするのだ餘り馬鹿〳〵しくて話にならぬではないか。思ふに今度の計畫は貴新聞が書いた通り煙草專賣を見越總督政治に妨害を加て暴利を得んとするのだ併し當局者も良く這般の事情へ通じて居る筈だから彼等の計畫は見事外れるダロー、ナニ泥棍でも和田常一君や中村再造君は加はて居らぬと、其は當り前だ、金さい儲かりや平渡の樣な惡人とでも提携しても差支ないと、コンナ心掛の人達の身の上はイマにドウなるか見て居玉へ。

▲菅原大太郎氏　技師の話に煙草營業は頗ぶる有利だといふことだ、創立者の思惑如何の如きは今は單に想像に過ぎずといへやう聞けば東亞煙草會社の營業には少しの影響を及ぼすことも無いらしい、利益の有る事なら設立しても可いでは無いか。

●各地虎疫患者統計　平壤地方に於ける虎列拉病に關しては屢々報道せし處なるが四日迄の各地虎疫の狀態に付き防疫本部の報告を見るに初發以來今日迄患者總數百四十九名にして内死亡者百〇七名全治一名現在患者四十一名なりと猶ほ平壤は新患者日々發生し居れるが之れを各地に就いて見れば左の如し

	患者	全治	死亡	新患
平壤	九八	一	六八	一三
夢金浦	六	…	五	…
松禾	五	…	五	…
載寧	一三	…	一一	三
黃州	二二	…	一五	三
鎭南浦	四	…	二	二
京城	一	…	一	…

●大懇親會の前景氣　來る九日景福宮に於て開催する京城府民大懇親會に關して内地人側は勿論朝鮮人側に於ても非常に人氣引立ち當日は一萬人以上の參會者ある見込なりと

●龍山水道敷設問題　京城民團と水道會社との間に於て此程來交渉中なりし龍山水道敷設問題は双方の熟議整ひし爲め漸く五日談契約を調印するの運に至りたりと云ふ

●小原男一行の入京　既報の如く朝鮮貴族の爵記を携へ渡鮮の途に就ける宗秩寮主事小原男蜂須賀式部官等の一行は五日夕着京せり

●京仁線の新停車場　來る廿一日より京仁線富平を杻峴中間なる朱安に新たに停車場を設置す

▲仁川港の出入船舶
▲香稚丸 六日午後四時大連へ出港
▲大有丸 同 午後四時神戸大阪へ
▲筑後川丸 同 正午鎭南浦へ出港
▲巴丸 六日門司より入港
▲香稚丸 同 神戸より入港
▲筑後川丸 同 長崎より入港

●仁川轉任官吏來往　四日午後十一時廿六分杻峴驛着の列車にて仁川府木野事務官着仁せり▲木浦府尹橋本豐太郎氏四日午後五時信濃川丸にて赴任▲京城郵便局へ轉任せられし八木仁川郵便局長五日午前八時五分發列車にて(百餘名外人側以英國領事外二十名)

▲大阪期米電報▼
▲前場●四日● 十月限止十五圓七錢 十一月限止十四圓九十五錢▲十二月限止十五圓二錢
▲前場 五日 十月限寄十五圓十六錢止二十六錢▲十一月限寄十四圓九十五錢止十五圓十一錢▲十二月限寄十五圓十三錢止十三錢

▲仁川米豆取引所▼
▲後場(四日) 十一月一節八圓六十錢▲二節六十八錢一錢二錢三錢▲三節出來高一萬一千石 十二月一節八圓六十錢五錢六錢七十錢▲二節七十八錢七十錢▲出來高一方五百石 ▲十一月一節七十錢六十九錢七十錢六十九錢出來高一方一萬百五十石 ▲十二月一節七十錢▲出來高一方六千五百石

▲京城手形交換高▼
十月 金高 枚數
五日 一〇一、八六〇、八六 三八三

▲京龍兩驛の貨客▼
▲南大門驛乘降客 四日の分如左
乘車客 八五〇 下車客 九二三
乘車賃金 一五七九、三五
▲南大門荷物扱高 四日の分如左
發送 四一噸 到着 二五六噸
發送賃金 九六三、一四
▲龍山驛の乘降客 四日の分如左
乘車客 二六三 下車客 一九二
乘車賃金 二一三、七四
▲龍山驛荷物扱高 四日の分如左
發送 四一噸 到着 一一噸
發送賃府 三三〇、六九

●石塚取調局長歸任　東上中なりし石塚取調局長官は五日夜南大門着列車にて歸京されたり

●勞働團体の歸還　五日午前八時五分新義州發列車にて日本人勞働團体二十七名は大阪に向つて歸還したりと

公人私人
▲大内暢三(代議士) 四日仁川へ向ふ
▲野村武(土木技師) 同砂里院へ向ふ
▲成田定(大朝通信員) 同日仁川へ
▲上林敬次郎(參政局長) 同日開城へ
▲朴重陽(忠南道長官) 同日三日月投
▲能勢辰五郎(全南道長官) 同天眞樓投
▲川上常郎(平北道長官) 同三日月投

京城日報の披露　既報の如く京城日報社は愈々前社長大岡力氏と德富猪一郎氏との間に引繼を了し社長兼主筆として國民新聞政治部長吉野太左衛門氏新に就任し營業部主幹として深水淸氏之に當ることゝなり四日午後六時よりソンタクホテルに於て披露の宴を催したり當夜の來會者は聯合通信員ポーリヤン氏山縣セウルプレス社長、熊谷國民、山本朝日、武田報知、是郷日本、牧山電通の各特派員宇都宮京城、菊池朝鮮兩通信社長、釋尾朝鮮、高畑法政兩社長、日韓實業界記者、小畑朝鮮新聞支局長及本社の森の十四氏にして先づ富德氏の挨拶に次いで山縣氏の答辭あり次にポーリヤン氏所感を述べ最後に吉野氏の挨拶ありて宴を撤し散會したるは午後九時過なりき尚ほ德富氏の挨拶の要領左の如し

今回私が吉野君を同行して京城へ參つたのは某新聞に主筆が一人入用と云ふ事で實は出發の前日吉野君に知らして連れて來た樣な次第で元々京城日報を引受けると云ふ樣な事は夢にも思はなかつたのである然るに話しは再三再四變轉して遂に友人大岡君と談笑の間に之を引繼ぐ事となつたのである、デ今後の京城日報は元り自分の社長たる國民新聞抔とは何等の關係なく只自分は京城日報を監督し社長兼主筆として吉野太左衛門君營業主任として深水淸君之れに當ることゝなりましたが、京城日報社は從來と違ひ全然總督府の所有物であつて從つて經營上損失をしても經營者其物には何等の影響もなく又利益を見ても別段儲かると云ふ譯けでもないのである、茲に諸君を御招ぎ致したのは日本でこそ吾々は先輩かも知れぬが當地では全くの新參者であるから宜敷御引立を請ふ云々

▲治外法權▼ 來る八日慶會樓に於て開かるべき日鮮人大懇親會前景氣の盛んなのは結構な事だ、口では同胞などゝ云へど腹の中では互に牆壁を設けて居る内地人と朝鮮人とが本會の開催により融和の度を增さんことは記者の熱望するところだ▲今度來る二百五十餘名の觀光團は何れも資産學識ある歷々なソウだ、コンナ歷々をして大懇親會に臨席せしめ日鮮人の關係を實觀せさるのは聊さか恐縮の事だ▲當地在住の内地人はドウ云ふものか鮮人を眼下に見る、而るに其眼下に見る鮮人と一ショになると風采容貌辭令何一ツとしてかなはぬ、まつた風采容貌辭令は兎に角として資産學識乃至品行はドウカと云ふと之とても到底競べ物にならぬ▲鮮人側には閔泳徽の四百萬圓を筆頭として百萬五十万の資産家が幾らもある、學殖にしても彼等の側には東京若しくは歐米に留學して相當に近世的學識を備へて居るものが幾らもある、翻つて内地人側を見れば如何▲初期の移住民に金持や學者の多く無いのは勿論の事だ、併し京城在住の内地人は半島十五萬移住民の粹だ、彼等は今日の處内地五千万同胞の代表者として鮮人同化の重任を帶ばせられて居るのだ▲サテ此重任を帶ばせられて居る人々は如何、彼等の中の金持と云へば先づ指を中村再造に屈する、併し彼れの資産では到底閔泳徽には當れぬ、而らば學者は如何と云ふに之は却つて云はぬが花だ、成程銀行や會社には相當の肩書のある學者が幾らも居る、併し彼等は移住民ではない▲鮮人と内地人との會合に於ては記者はイッデも冷汗を濕すのだドウか今度の大懇親會にはセメて行儀だけでも良くして内地の客に笑はられぬ樣したいものだ▲京城始め總ての府尹が極つた、此次發表になるのが府の參事だ、聞く其筋では從來の民團長を參事に擧げるとの事だ、而らば京城の參事は古城と張憲植か▲大阪の期米が十五圓二十七錢に暴騰した朝鮮の百姓は北叟を起さん



不法監禁事件公判

▽判決申渡は來る七日

本町五丁目小間物商建部喜三郎及店員草野文次郎が朝鮮人崔順榮を不法監禁したる廉にて告訴せられ檢事局に送られし事は既報の通りなるが當時建部草野兩人より該記事に取消の申込ありたるが事實は爾來兩角檢事の手にて取調の上起訴せられ昨五日塚原裁判長兩角檢事の掛りにて公判開廷ありたり被告辯護人として木尾辯護士出廷事實の審問に對し建部は雇人草野に一任しありし事とて自分は何等關係せざりしものなりと主張し草野は被害者崔順學の承諾を得て留め置きたりと供述せり一應事實の審理終りて辯論に移り兩角檢事は儼然たる體にて本件は最も簡單なる事件なり唯被告等が日本內地に於て同一日本人を斯の如く不法監禁せしときは如何と云ふ點を腦に置けば判然す可く然らば朝鮮人なれば如何と云ふに今日に於ては日本人同然なり以前は朝鮮人に對しては民事上負債留置の規定ありしも弊害あれば當局者は可成許可せぬ方針なりき然るに其後司法權委任せられ又日韓合併となりたるより如斯規則は廢止されたる今日個人として個人を監禁する抔甚だ不都合なる可く又承諾を得て留置きしと申立るも被害者の申立は勿論司法警察官の報告等に因るも不法監禁たるは判然せり殊に他人を物置倉庫に留置して一日に握り飯一個宛位ひ與へ一週間以上も監禁する抔は最も憎む可き行爲と云はざる可かず被告建部は草野を監督すべき地位にあれば八百圓以上の債務の所置に加ふるに債務者を一週間以上も監禁せる事なれば假りに監禁には關係せざりしとするも今日は如何せしか位は問はざる筈なし之れを要するに身柄の拘禁なかりし爲め草野一人に罪を負せ自己の罪を免れんとする惡策に過ず依て本件に付ては多く論ずるの必要なければ被告草野に對しては懲役五ヶ月建部に對しては懲役三ヶ月の宣告ありたしと求刑したり之れに對し木尾辯護士は彼の人通り多き泥峴街にて無理に監禁出來得べき筈なく不法の留置なれば直ちに救を求め得べき箇所なり然るに之れなきは合意の上、金の出來る迄自分より蒲團迄持ち來り寢ねたる位にて朝鮮人には昔より借金支拂ひ出來ぬときは留置されるが習慣となり居る事なれば崔順學は八百圓の債務返濟出來ざる爲め進んで來りたる者なり食事の點に付ては鮮人の事とて日本人の食事は爲さぬ爲め滿足に與へ得ざりしなりと種々なる例を揚げ無罪の判決あらん事を申立て辯論終りて來る七日言渡す可き旨にて閉廷せり

邦人十三名監禁眞相

▽原因は知縣の息子可愛さ

掬鹿在住邦人十六名中の十三名が退去問題に付き賈知縣の眞意を確めんとし禮を厚くして知縣衙門を往訪せる際事の行違ひより兵力を以て悉く知縣衙門に留置虐待せられつゝある旨は曩に報道したる如くなるが今其の眞相なりと云ふを聞くに當時生憎賈知縣は他に御馳走に聘ばれて往つて不在なるより折角一同聯袂來訪せるものが此儘空しく歸るも遺憾であるゆへ怎せ歸刻が迫れりといふに暫時俟つて居樣と十三名はバラ〳〵になつて各室に休憩し居る中遂に賈知縣の息某と藤山辰次郎湯本澤二西口幸次郎の三名とがつまらぬ口爭ひを初めしが動機となりて双方共味方の加勢を賴み玆に一場の格鬪が起りし處へ知縣が微醺を帶びて歸つて來たからたまらない『ナニ、日本人が亂暴をする吾輩の同情に縋りつゝ非開放地に居住しながら官憲を官憲とも思はぬならば最後の手段を決行するばかりだ』と憤然として閣外に出るや折柄廊下通行中の巡警總局長に命を下し門內に集り居れる邦人十三名の監禁制縛を敢行せしめたといふのが事實の眞相として傳へらるゝ確說である掬鹿に在住せる邦人は賣藥商なり何なり相當の商賣をして居るから例の醜業婦を道具に使ふ人喰仲間とは違ふが兎に角他國領分へ踏込んで商賣をしやうと云ふ仲間だから氣の強いことは當り前だ這般の如きも藤山、湯木、西口、山崎なんどの面々が事件後鐵嶺迄押掛て來て奉鐵間を來往して何かの運動をして居る樣だ知縣は押掛けて來た日本人が醉つて居たと云ふ日本人の方では知縣が醉つて居たと云ふ其判斷は姑らく讀者に任せて置く

秋季清潔法施行

▽南部警察署管內

十七日より秋季清潔法施行の筈なるが其日割左の如し(雨天の時は順延)▲十月七日　旭町、南山町全部▲八日　自本町一丁目至九丁目、本町一丁目裏通新町全部▲十日　壽町、倭城臺、日の出町、大和町全部▲十一日　明治町、曙町、南大門通三丁目、同裏通、黄金町全部▲十二日　長谷川町、羽衣町、北米倉町全部▲十三日　米倉町、南大門通一二丁目、太平町、昭義門通、獨立門通、相生町▲十四日　若草町、永樂町▲十五日　櫻井町、花園町、竹園町▲十六日　御成町、蓬萊町、古市町、漢江通、岡崎町、三坂通、和泉町、吉野町(附記　京町も南部署管內のみ)

●拐帶鮮人の僞名

九月上旬名古屋市東田町森田安太郎(一九)と稱して東京四谷信濃町停車場前の旅人宿信濃舘に投宿せる靑年あり爾來終日爲す事もなく一室に閉ぢ籠り時折淸貫一(二〇)と云ふ男が尋ね來り秘密に何事か相談し居る樣子の變なるより四谷署にては夫れとなく目を付け居たるに森田安太郎とは眞赤な僞りにて正しく朝鮮人なる事判然したるにぞ同人を本署に引致し取調しに彼は朝鮮平安南道龍川郡東部面二里朴明守(一九)とて平壤大和町雜貨商盛昌洋行主森辰次郎方に店員として奉公中百二十圓を拐帶逃亡し內地に渡來し豫ねて知合なる名古屋市東田町豫備憲兵大尉須永梅三郎氏を訪ねたるは去る八月二十六日の事なり須永大尉は卅七八年戰役當時平壤に滯在中朴明守を給仕として使ひ居たるものにて凱旋歸鄕後も書信の往復をなし消息を絕たざりし緣故から扨てこそ同氏方に身を寄せたるものと知られたるが同地滯在中は大尉の息憲治氏及び同氏の友人芳野町工兵少佐の息なる前記淸貫一と交際し姑く同地を遊び廻つた末兩人手を携へて上京せしものにて前記の金員拐帶の科ある上に流暢に日本語を操つる處から扨てこそ純日本人と氏名を詐稱したるものなる事判然したるにぞ直ちに拘留に處し目下被害者側に對つて實否照會中なるが本人は今は僅かに三錢を懷中し居るのみなりと

▲來年の曆▼

▲四十四年　は辛亥の歲で一月の元日は辛未で日曜に當る、本年は元日が土曜に始まつて十二月卅一日が土曜に終つたが來年は元日が日曜に始まつて十二月卅一日が日曜に終る▲日蝕　十月廿二日午後○時三分東京で一分六厘の蝕である▲彼岸入は春三月十九日、秋九月廿一日▲社日　春三月十九日、秋九月廿五日▲八專　は二月十一日、四月十二日、六月十一日、八月十日、十月九日、十二月九日▲休日　は日曜祭日の重なるの他は九月廿四日の秋季皇靈祭のみで其他は一月廿九日が日曜で卅日が孝明天皇祭、二月十一日が紀元節で十二日が日曜、四月二日が日曜で三日が神武天皇祭、三月十九日が日曜で廿二日が春季皇靈祭、十月十五日が日曜で十七日が神嘗祭、十一月三日が天長節で五日が日曜、同十九日が日曜で廿三日が新嘗祭である▲諸節　小寒が一月六日、大寒が一月二十一日、節分が二月四日、初午が二月五日、八十八夜が五月三日、入梅が六月十二日、夏至が六月廿二日、半夏生が七月三日、二百十日が九月二日、冬至が十二月廿三日、土用が一月十八日、四月十八日、七月廿一日、十月廿一日▲日曜　(一月)一、八、十五、廿二、廿九(二月)五、十二、十九、廿六(三月)五、十二、十九、廿六(四月)二、九、十六、廿三、卅(五月)七、十四、廿一、廿八(六月)四、十一、十八、廿五(七月)二、九、十六、廿三、卅(八月)六、十三、二十、廿七(九月)三、十、十七、廿四(十月)一、八、十五、廿二、廿九(十一月)五、十二、十九、廿六(十二月)三、十、十七、廿四、卅一

●銃器密賣者の處刑　東部

崇信坊居住長谷川梅吉(三四)森久七(三六)の兩人が朝鮮人金應均より短銃及彈藥購入の依賴を受け姜錫奎なる者と共謀の上九月五日東大門警察署に赴き恰も長谷川梅吉が護身用に供するが如く詐き短銃一個彈藥十二發の買入許可願を差出し尙ほ警察官をして右の如き不實の記載を爲したる許可證を受け之を以て本町六丁目增戶銃砲店にて該品を代價十二圓五十錢にて購入し卽ち之を金應均に渡し買入金として受領したる金二十三圓の內一圓を返却し殘金を分配したる事發覺し其筋に檢擧せられし事は既報の如くなるが爾來京城地方裁判所に於て審理中の所昨五日各懲役三ヶ月に處せらる

●理由もない喧嘩

廣島縣佐伯郡大和田村生船乘業當時仁川港碇留團平船々頭沖新義(三三)は四日午後十時頃同縣同郡廳川村生同業當時花房町二丁目居住藤田德松(三〇)の爲めに面部を毆打微傷を負せられ且つ襯衣を引き破られたる旨訴により警官現場へ出張取調べたるに當日は德松方にて午前十一時頃より同業者五六名集合して同時刻迄酒宴を續けたる故何れも泥醉し少しの言葉の行違ひより爭論となり双方摑み合を爲し前記の次第と判明したるも別に遺恨とてもなく全く醉狂の上の事とて其不心得を諭し將來を戒めて事濟

●嫉妬深き旦那殿

龍山坊井契八十一統一戶金化純(二四)は本年四月中隣家の金相旭方の下婢なりし黄姓女(一七)を妻としたる處黄姓女は元主從の關係により金相旭宅へ出入し隔心なく何事をも金相旭に相談するを金光純は早くも之を姦通と思ひ龍山署に屆出たるも前記の如く判明し双方說諭の上放還

●仁川の行旅病者

長崎縣一岐郡楾崎村五十八番地長谷川菊三郎(六十五)は仁川內洞永信組金貞根方に於て病氣に罹りたるも所持金はなく又た知人親戚等もなきに付き行旅病者として昨日仁川分院へ收容せり

●遺失　仁川松坂町三丁目繁野スミは四日午前十一時半頃支那人野菜市場へ買物に行き六圓餘在中の財布を遺失

●投棄　仁川京町一丁目支那人同增仁方店頭に陳列しある柿は腐敗に傾き居るに付き說諭投棄せしめたりと云ふ

●敷島嫖客　四十三人にして百二十五圓八十五錢の財散髙とは肌寒し

●寒山寺梵鐘分身

山田寒山氏の鑄造中なりし淸國蘇州寒山寺の梵鐘分身は最初五月中に發行する豫定なりしも何分故伊藤公の撰したる鐘銘百三十二文字を鮮明に鑄出せしむるに多大の苦心を費し遂に今月に入りて漸く素志を果し目下續々希望者に配布しつゝあり元來文字を鑄出するには蠟型を用ゆるが捷徑且つ容易なれど斯くては分身配布の希望者の心に副ふべき廉價にては到底應じ兼ぬるより止むなく砂型に依りて鑄出する事となり爲めに多年手練を積みたる名匠も種々に肝膽を碎きたるが分身は甲乙丙の三種にして何れも百三十二文字悉く極めて鮮明に隆起し居り一見苦心の程を推察するに餘りありと云ふ甲號七寸形一基十五圓乙號五寸形一基十圓丙號三寸形一基五圓にて頒つ(申込所東京下谷區下谷町一丁目一番地寒山寺)

目と耳　(六日の分)

▲壽座　東操一座及博多二〇加一座　博多喜劇『幽靈の貸込』『蓄音機の貸込』『禍と福』筑前琵琶『赤垣源藏』(中川とし子當年九歲)改良新講談『滿洲地染の地圖』(東操)

▲浪花舘　如雲一座は大喝采の內に五日限り打揚げたるが代りは大阪千歲活動寫眞にして重なる映畫左の如し　關東大洪水慘狀、舊劇安達原三段目袖萩祭文の場淨瑠璃入、伊勢大廟宇治橋渡橋式の盛典、二見浦日の出光景、此他餘興數十種(二十錢均一)

▲龍山座　如雲一行初日讀物左如　佐倉義民傳(雲若)天正武藏(早川濟)寬永三馬術(九洲男)倉橋傳助親子對面前後二席(桃中軒如雲)

▲歌舞伎座　曾我の家一座其他の合同劇代り狂言は『嫁が淵』の通し

▲露國大曲馬　明治町東拓敷地假小屋に於ける露國人『パローフスキー』一座の大曲馬は愈々本日より開場觀覽料特等二圓一等一圓二等五十錢三等三十錢にて團体十五人以上は二割減とす　毎夜七時より開場

▲運動會　日の出小學校にては來る八日秋季運動會を催す由

今日の運勢

十月六日　舊九月三日　二黒●大安　甲辰　危　△一白●起業開店婚談保證受印見合せ●事情に騙られて意外の出費あり△二黒●新事見合せの事旅行轉住模樣替方針替に忌む酒色及遺失の害を戒む△三碧●不意の防害を受け易き事あり旅行婚談見合せの事△四綠●取引金品授受證券の事故障起らんとす申込誘引にあふあり△五黄●引受保證世話事を禁ず家族從者より損害煩累あり△六白●快欣の日　大凡吉農業及鑛業金屬の業務に吉△七赤●利得あり又便宜を得る日なり屋入れ子孫の事を擧るは見合すべし△八白●旅行轉住模樣替方針替に吉其他平凡△九紫●委囑會見相談契約婚談に吉負傷衛生に留意の事　本町五丁目三一舘

●天氣豫報(自五日午後六時至六日午後六時)

北風　晴

四日(華氏)最高溫度　七二、五　最低溫度　四九、三

▲大阪期米電報▼

●前場(四日)●十月限止十五圓七錢▲十一月限止十四圓九十五錢▲十二月限止十五圓二錢▲前場(五日)●十月限寄十五圓十六錢止十六錢▲十一月限寄十四圓九十五錢止十五圓十一錢▲十二月限寄十五圓十三錢止十三錢▲後場●十月限寄十五圓十七錢▲十一月限寄十三錢▲十二月限寄十六錢

▲仁川米豆取引所▼

▲後場(四日)十一月一節八圓六十錢▲二節六十錢一錢二錢三錢▲三節出來不申▲十二月一節八圓六十二錢五錢六錢五錢二錢二錢三錢四錢三錢▲二節六十四錢五錢四錢三錢四錢▲三節七十六十八錢九錢八錢九錢八錢九錢七十錢六十九錢七十錢六十九錢出來高一方一萬百五十石●前場(五日)十一月一節八圓六十七錢▲二節七十錢▲出來高一方五百石▲十二月一節八圓六十八錢七十錢六十九錢七十錢七十一錢七十錢一錢▲二節七十二錢三錢四錢三錢四錢三錢二錢一錢七十錢一錢二錢▲三節七十二錢一錢七十錢▲出來方一方六千五百石

▲巴丸　六日門司より入港
▲香稚丸　同　神戸より入港
▲筑後川丸　同　長崎より入港
▲香稚丸　六日午後四時大連へ出港
▲大有丸　同　午後四時神戸大阪へ
▲筑後川丸　同　正午鎮南浦へ向出港

●仁川轉任官吏來往

四日午後十一時廿六分着の列車にて仁川府事務官に轉任せられし▲木浦府尹橋本豐太郎氏四日午後五時信濃川丸にて赴任　百餘名外人側は英國領事外二十名▲京城郵便局へ轉任せられし八木仁川郵便局長五日午前八時五分の列車にて赴任



●かれこれと迷ふこと勿れ 完全無缺の大學目藥あり

大學目藥

大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基きし貴重の製劑にして●流行目●トラホーム●星目●のぼせ目●かすみ目●血目●疲目其他眼病一切に可驚奇効あり

發行所 大阪市北濱二丁目 元 ヘブリン丸 祖 參天堂藥房



かぜねつの最良藥 大阪田口の ヘブリン丸

各藥店にあり 定價 五戔・十戔・十五戔・三十戔

京城南大門通 新井藥房 電話一〇六八 振替口座 韓國 九〇四 十六番

中島醫院

入院隨意

京城壽町三丁目(電話三七八番)

院主 醫學得業士 中島貞信

中將湯

身體の丈夫は一生の徳 弱き御婦人は中將湯を召上れ 子宮病 血の道 産前産後 良藥

本舖 東京 津村順天堂

代理店 京城 新井藥房

特約店

米國スタンダード製松印石油 下總國野田㊧印醤油 仁川日本醤油株式會社製印醤油 下總國万上印味淋 尾張名古屋㊧印壜詰 汗浦根炭及日本木炭 英米煙草會社製品各種 神戸株式會社布引礦泉所製馬蹄印 豐後湯の花精製品(入浴用) 湯の花菓子(茶用)瓶入各種

雜貨部 京城本町六丁目 藤富國太郎本店
貿易部 京城南大門市場 藤富國出張所
木炭部 京城永樂町二丁目 藤富國出張所

電話三〇八番 電署(ク)

其他和洋酒、米、麥、石炭、みかん、洋臘、瓦煉瓦、明太魚、鰊、昆布、簾、青莚、味噌、鑵詰、千香、其他乾物類一式

義齒術全般 龍山元町二丁目 飯田健太郎 電話

本場秩父縞

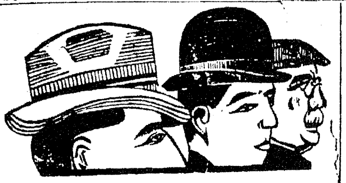
開店一週年に付 破額廉價大賣出し 九月廿八日より

縞類 五圓 絣類 五圓五十錢 甲斐絹尺二十錢 均一

其他特製珍柄洋山取揃申候

秩父屋 關根出張店 京城明治町一丁目 (電話四三)

義齒全般 龍山大島町 加藤民重郎



最新式 帽子各種 品揃

季節柄品大勉强を以て販賣仕候尚地方よりの御注文は特別安價引替小包にて郵送仕べく候尚此新聞廣告欄切拔御注文被下候へば郵送料は當店に於て負擔可仕候

帽子製造御商 京城本町二丁目(日韓書房前) ミナト帽子店

京城相生町南門通横 (電話一二九四番)

京城梅毒病院

自午前八時 至午後九時

●花柳病專門 附、痔疾一般 ●入院隨意●

院長 醫學得業士 蘆田耕平

三製紙會社製造板紙特約店

洋紙各種 紙函封筒 諸袋類製造販賣

京城長谷川町三丁目 鼎商會 電話九百十八番

南大門出張所 電話六八一番

資本金五十萬圓 積立金九萬七千圓

株式會社 大韓天一銀行 電話五五八番

支配人 遠山凞 電話八一六番

和洋反物各種

新案 九たびとた

堅牢と廉價は當店の誠

京城本町一丁目 九 朿原商店 電話四八三番

九 出張店 京城本町五丁目壽座入口角

上酒

清正 政宗 正則 釀造元

小賣壹升に付三十錢 卸賣は特別割引可仕候

清酒 美淋 燒酎 釀造元 並に日用食料品雜貨類

中井酒造場販賣部 京城壽町三丁目 電話百七十七番

電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候



京城光化門通 淺田洋服店 店主 大島卑藏 (電話四百十二番)

酒精アルコール

新荷着

仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電署サ)

坂倉支店

醫藥料目

和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐アシン 穀物食鹽 醫藥料類

賣販總發

東京サンバーゾ商會代理店 ...

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)

出張所 東京 京城 南大門...

牛馬犬猫 治療所 入院隨意

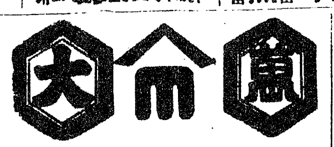
京城明治町三丁目(電話四二七番)

小川家畜醫院 院長 小川絲太郎

旅館 京城南山町三丁目

京城ホテル 電話長一二三番 四九二番

日本室和食
特等 (三圓五十錢)
一等 (二圓五十錢)
二等 (一圓八十錢)
三等 (一圓五十錢)



特約販賣 自製

味噌醤油製造元 漬物問屋

京城本町五丁目

大上商店

(電話二五一番)

和洋酒、㋖精酢、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物、食料雜貨、ビール、鹽、糀、鹽辛、日本食鹽、荒物各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進

東京 足袋

本店 東京 京城大和町一丁目(日の出橋際)

大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番 明治町勸商場內にモ出張店アリ

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

明法學士 北島靜法律事務所 京城裁判所西隣 仁川沖町三ノ八(タウセンド筋向)(電話七〇二番)

專門一般外科

診察時間(每日)正午迄 (月、水、金午後四時より七時迄)(每日曜日及大祭日)

休日 場所 旭町一丁目六十七番戶(日ノ出湯裏)(電話六九二)

院長 前大韓醫院外科主任 鈴木謙之助

鈴木外科醫院

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓 積立及繰越金 九拾六萬圓

株式會社 十八銀行京城支店 京城南大門通 (電話四二〇)

本店 長崎 出張所 長崎市築町

支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羣山、鎭南浦、馬山

韓國 日本 大阪、熊本 佐世保、嚴原 五島、壹岐

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候 (利息日歩壹錢二厘)

長崎貯蓄銀行代理店 (十八銀行京城支店)

★株式會社 百三十銀行 京城支店 電話百九十四番 振替貯金韓國 五十八番 一二三番

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿內 大阪、神戶、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影

東海道 津、岡崎、濱松、半田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪、千葉、東京、橫濱、大磯、靜岡、甲府

東山道 彥根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、高崎、伊勢崎、前橋、若松、福島、酒田、能代、七崎、青森、仙台

北陸道 金澤、高岡、富山、伏木、新潟、小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺

山陰道 米子、境、松江、今市、大田、宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取

山陽道 岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、鞆、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、吳、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、德山、萩、長府、小月、下之關、明石、姬路、龍野、網干、岩見、西大寺

南海道 和歌山、田邊、御坊、新宮、尾鷲、串本、高松、坂出、豐濱、川之石、今治、西條、松山、三津ヶ濱、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養

西海道 門司、福岡、博多、直方、飯塚、佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、佐世保、唐津、佐賀、若津、長崎、伊萬里、久留米、熊本、牛津、鹿兒島、坊井、宮崎

北海道 小樽、函館

台灣 臺北、臺南、太泊

樺太

韓國 仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、羅州、晋州、馬山、龍州、大邱

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

㊎ 芙江公州 間出帆廣告

芙江發 每日後一時 (京城方面ヨリ急行接續)

公州發 每日前七時 (京城方面行急行接續)

(荷客共御取扱可申候)

御用向ノ御方ハ(京城仁川島致院芙江公州)中條店ヘ御尋被下度候

瀛船出港廣告

月串、喬洞、海州行 天草丸 安來丸 成歡丸 隔日出港

瀛船 仁川港海岸通 (電話四一九) 柴田回漕店